

予算審査から 平成17年度

予算特別委員会審查報告

料館や体験茶園、特産品コー の3つの機能を備えた茶の資

体験交流、休憩サービス お茶を楽しめる、情報発

例外的に施設管理者が許可を

した場合を除き原則禁止とす

や市民が気軽に立ち寄

ナー 等を設置するものである。

ಕ್ಕ

平成17年度宇治市一般会計予算などの18議 案及び1請願は、予算特別委員会に付託され ました。委員会は、3月9日から24日までのう ち、7日間にわたって審査を行い、18議案を 可決し請願を不採択しました。(6面の議決結 果を参照)ここでは、3月24日に行われた総 括質疑及び定例会最終日に行われた討論につ いて、その一部をお知らせします。

定例会最終日に討論が行われました。 自民党市民クラブ議員が、市が提出した 全議案に賛成、「国民健康保険料の値上げ をしないことを求める請願」に反対の立 場から討論を行いました。無所属議員が 「平成17年度宇治市一般会計予算」に対し、 賛成討論を行いました。

日本共産党宇治市会議員団議員は、「平 成17年度宇治市一般会計予算」ほか7議案 に反対、「国民健康保険料の値上げをしな いことを求める請願」に賛成の立場から 討論を行いました。

成

(自民党市民クラブ議員)

市税が減収するなど引き続き厳しい経 済状況下であるが、最小の経費で最大の 効果を上げるという基本理念のもと、予 算が編成された結果、平成17年度の予 算規模は、一般会計にあっては、対前年 度比でマイナスの予算編成となっている。 また、財源の効果的で効率的な重点配分 を通じて行政水準を低下させない配慮が 感じとれ、市民ニーズに応えるべく随所 にその気配りがうかがえる堅実な予算で ある。

今後進展する少子・高齢化社会や地方 分権の時代にあって、将来の市民福祉・ 市民サービスの財源を捻出するため、第 4次行政改革の断行による経費削減や総 人件費を削減するための第2次職員定員 管理計画の実施など思い切った改革が目 に見えて行われており高く評価する。

対 攵

(日本共産党宇治市会議員団議員)

第1の理由は、国民健康保険料の値上 げ、マル宇制度の改悪、大型店出店の野 放しなど市民の生活に厳しい予算となっ とである。

第2の理由は小・中学校におけるクー ラーの設置も放置され、乳幼児医療費は 府南部で唯一助成されていないなど教育 や福祉を充実させてほしいという市民の 願いに背を向けた予算となっていること である。

第3の理由は、人事監の設置など、市 政運営のあり方がゆがめられようとして いることである。

第4の理由は、市民にとって何の利益 もない市町村合併はこれ以上進めるべき ではないことである。

第5の理由は、市民の願いに応えた景 観まちづくりができていないことである。

この事業の内容や効果、財政地を候補地としている。今後、業センター周辺の府の公園用 能的に集団茶園の整備メニュあったが、面積的に、また機 植物公園の活用という意見も という結論に達し、現在、茶 をクリアすることが厳しい 本事業策定委員会の中で、 外部の公共施設に勤務

する職員の駐車場は

画の策定を進める。

今後は、 原則禁止とする

意義深いものである。 とのふれあい等、さまざまな すばらしい実績を上げている。 活動が実施され、全国的にも く、生きることの喜びや仲間 たちが音楽の楽しさだけでな やマー チングバンド等の課外 指導者を配置することは困難 が必要であり、 な技能と知識を有する指導者 ことを小さいときから学べる こうした課外活動は、子ども 上を図っていきたい。 しかし、その指導には特別 教職員の指導力量の 中6校で金管バンド 現 在、 直ちに全校に 市内全22校

の強化を図っていきたい。 いる。今後もより一層、 共有化と連携の強化に努めて 子育て施策と女性政策 の連携は 今後より一層の 連携強化を図る

続き努力したい。 しい予算の確保に向けて引き 業の推進をしていくにふさわ っても、 執行していくかが課題であるた予算をいかに有効に活用し、 け確保し、かつ円滑で的確な ズに対応できる予算をどれだ のは、厳しい財政状況下にあ 割合等、 執行がなされるのかであり できるものではない。重要な 本的な考え方にたち、各種事 と認識している。 こうした基 になる。したがって、限られ そこが評価の大きなポイント 他市との比較で評価 その時々の教育ニー 般会計予算に占める 教育予算の内容は

平日の夜間に 行政懇談会を

実施している

ティバス運行には様々な課題

機関等と十分協議検討したい。 画会社、バス事業者及び関係 でなく、全市的に最適な運行 でなく、全市的に最適な運行 でなる、全市的に最適な運行

総額の増額が必要では。 較して本市の教育費が少なす に進まないのは、周辺市と比 員の配置の問題が十分学校施設の問題や教 教育費 夜間や休 時間外労 談会の開 望や意見 ついては、 今後、 要な接点 庁時間内での市役所の会議室 大きく、 開催 は、地元の意向や市の行政懇談会のあり方に をお願いしている。

運行形態は、

政懇談会 、現在、可能な限り開労働など職員の負担がもあるが、職員の体制、開催を希望される自治体日に地元での行政懇 となる。このようにコミュニけ皿作りの構築が難しい課題受け皿が必要となり、この受受け皿が必要となり、この受政上の問題が生じる。また、政上の問題が生じる。また、政 域が主体となって運行するも体となって運行する方法と地 のがある。行政主体の場合

常に不便な地域である。 **所からも離れているため、非地点にあり、またバスの停留** ュニティバスの運行を。 問 運行形態は、行政が主コミュニティバスの一

反映した 市民の意

槇島町南落合に コミュニティバスの運行を

答弁 全市域を対象に 検討する

植物公園に集団茶園の 観光交流拠点を

事業内容を精査の上 計画を進める

車を無料で駐車している。勤判断により、敷地内に自家用 後は公共施設の敷地への職員 | 務する職員は、施設管理者の| 一方、外部の公共施設に勤 の通勤用自家用車の駐車を 題の不均衡をなくすため、 務地による職員間の駐車場問 困難な場合や、身体障害者等 公共機関による通勤が著しく 保し駐車料金を支払っている。 自家用車は各自で駐車場を確 転車のみ駐輪を許可している。 の駐車は不適切ではないか。 る施設内への職員の自家用車 員は通勤用バイク、自 本庁舎に勤務する職 今

問

の集団茶園を新たに整

観光交流拠点として

の植物公園に組み入れては。

の充実を図るべきでは。

虐待の防止、通報、相談、

保

ぎるためと思われる。

関係機関と庁内の関係課で構

護の観点から、知識経験者や

成するDV対策ネットワーク

会議及び児童虐待防止ネット

要に応じケース検討会議も行

化と情報の共有化に努め、 トワー ク会議を設置し連携強 女性のための相談担当者ネッ

必

っている。さらにDVや児童

この事業は、

観光客

況が厳しくなる。 現存する市

に相当の費用がかかり運営状 **偏すれば長期的には維持管理**

教職員を全校に配置し、 つ小学校は全体の3割に満た 問 楽演奏のクラブを持 専門知識、技能を持つ 金管バンド等の器

小学校に音楽の専門知識 を持つ教員の配置を

教職員の指導力の 向上を図る

> 組みはどのようなものか。 本市の母子保健計画

を利用し、施設内に駐車して いる者もいる。行政財産であ

職員は通勤に自家用車

本庁外に勤務する市

関の連携強化が明記されてい る。これまでの具体的な取り **风長を支援するため、関係機** では子どもの健やかな

処理するため、庁内の各相談 窓口等の担当者で構成される な場合もあり、円滑に 問題事象が大変複雑

教育予算の増額を

教育ニーズに 応えるよう努力する

である。

夜間に地元での開催

市民は参

れるため、

仕事上の関係で

≦間に市役所で開催さ 行政懇談会は平日の

体制など を考慮し検討したい 答弁 原則平日昼間に

不可欠で

小倉駅と向島駅の中間横島町南落合は近鉄